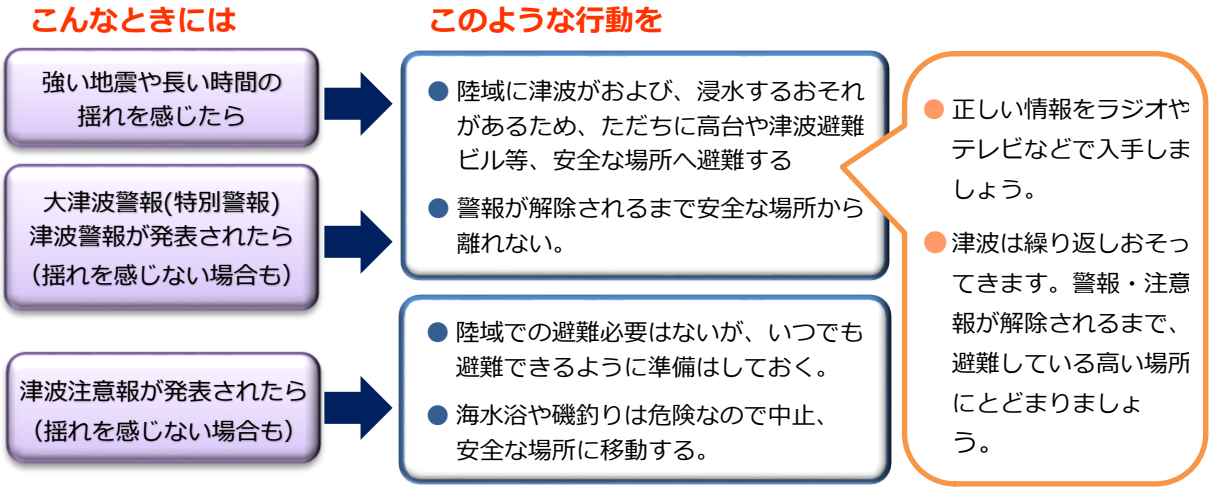
第１２節　津波から身を守る

津波から身を守るには、唯一「逃げる」しかありません。大津波警報や津波警報が発表されたらとにかく高い場所に避難します。



１．津波に対する日ごろの備え

津波が押し寄せてきたときに、パニックに陥らないためにも、避難方法の確認や浸水地域の把握、どこに津波避難ビルが存在するかなど、日ごろから確認しておきます。

※ 西成区役所では、津波発生時の浸水想定域や津波避難ビルなどを示した防災マップ及び水害ハザードマップの配布を行っています。

２．津波避難のポイント

地震の揺れの程度で自己判断しない

揺れが小さくても津波が起こることがあります。小さい揺れであってもまずは避難する。

避難に車は使わない

原則として車で避難しないでください。渋滞によりかえって避難が遅れる場合があります。

「より早く」「より高く」逃げる

浸水が始まってしまった場合は一刻を争います。「遠く」よりも「高い」場所に避難します。近くのマンションやビルの３階以上に逃げ込むようにしましょう。

津波避難ビルを確認しておこう

周りに高台がない場合に利用する緊急避難施設として、津波から避難できる高さ・耐震を有するビルを「津波避難ビル」として指定しています。
どこに津波避難ビルがあるかなど事前にチェックしておきましょう。

津波避難施設のマーク